



戸田ヶ原 レポート

戸田ヶ原自然再生エリア第1号地では、春の草花が咲き、ツバメやオオヨシキリなどの鳥たちが訪れています。

サギゴケ



今年の戸田ヶ原自然再生エリア第1号地のサクラソウは、3月23日に咲き出しました。昨年4月5日でしたので、2週間ほど早い開花となりました。開花しているサクラソウの株数を調べたところ、およそ500株が花をつけていました。また、4月16日にはサクラソウの花にトラマルハナバチが訪れている姿が確認できました。トラマルハナバチはサクラソウの花粉を運ぶ重要な昆虫といわれています。

セイトカアワダチソウの抜き取り



オドリコソウ

セイトカアワダチソウは北アメリカ原産の植物で、在来の植物に影響を与えます。4月16日に、戸田ヶ原サポーターの方々と、戸田ヶ原自然再生エリア第1号地のセイトカアワダチソウの抜き取りを行いました。参加いただいたみなさん、ありがとうございました。



トダスゲ

トダスゲも例年より早く花が咲き始め、サクラソウの花と同時に楽しむことができました。



お弁当を持って戸田ヶ原へ行こう！

イベントを開催

4月13日、14日、20日に、戸田ヶ原自然再生エリア第1号地でクイズラリーやガイドウォーク、四季の写真展示などを行いました。多くの来園者があり、春の自然にふれながら、戸田ヶ原自然再生の取り組みを紹介することができました。



トダスゲ カヤツリグサ科スゲ属

戸田ヶ原自然再生では、多様な生きものを育む場の再生を目指しています。今号から自然再生の目標としている生きものを紹介します。

トダスゲは、植物学者の牧野富太郎がかつての戸田ヶ原で発見し、この名をつけました。日あたりのよい湿った草はらに生え、高さ40～80センチメートルになります。戸田市内でトダスゲは見ることができなくなっていました。1992年に朝霞市の新河岸川の河川敷に生えていた株をゆずり受け、戸田市民の方々が大事に育てたものを、2010年から戸田ヶ原自然再生エリア第1号地へ植え、守っています。



オグルマ情報

2月に開催した「さくらそう植え付けイベント」で、参加の方々にオグルマの種子を播いた鉢を配布しました。4月下旬になって、オグルマの芽が出始めました。



戸田ヶ原サポーター活動予定

5月21日(火)、6月18日(火)の10:00～11:30に 戸田ヶ原自然再生エリア第1号地の保全管理作業を行う予定です。参加希望の方は、事前に環境政策課までご連絡ください。



戸田ヶ原
自然再生エリア
第1号地
アクセス

JR埼京線またはJR武蔵野線
武蔵浦和駅より「下笹目行」バス乗車
「彩湖・道満グリーンパーク入口」
下車徒歩10分

JR埼京線 北戸田駅より
tocoバス美笹循環乗車
「道満」下車徒歩8分

